

第7回 Meet Up 九核

【臨床講演】

南風で診るオクトレオスキャンとNET



南風病院

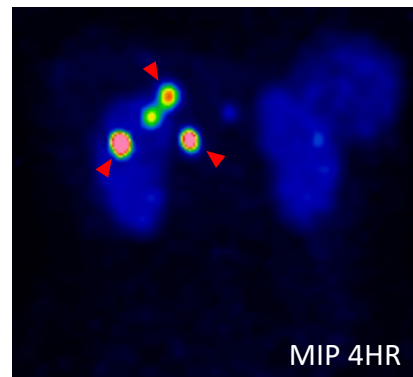
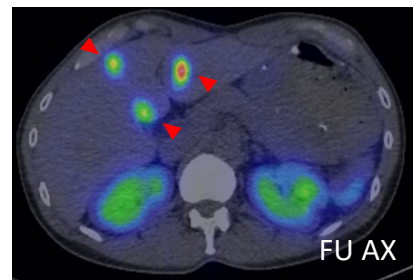
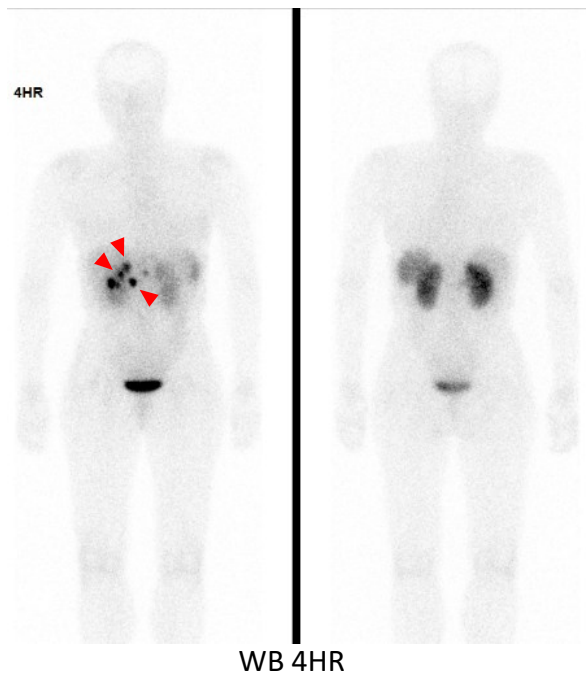
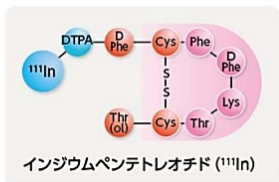
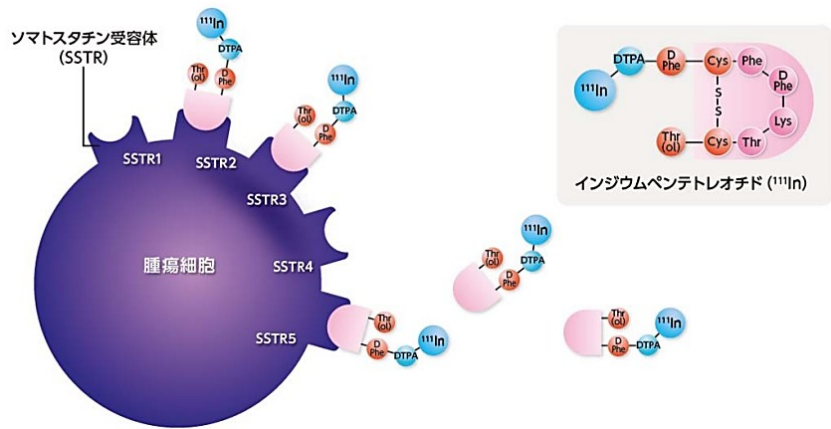
医療技術部

放射線技術科

© 持留 浩輔

オクトレオスキャンとは

多くのNENはソマトスタチンという環状ペプチドの受容体（SSTR）の発現が増加している。オクトレオスキャンは、そのソマトスタチンのアナログであるペンテトレオチドを ^{111}In で標識した放射性医薬品で、SSTRの分布を画像化できNENの診断に用いられている。



プロトコール



インジウムペンテトレオチド(^{111}In)注射液 111MBq投与



1日目

2日目

3日目

【4時間後】

WB (頭頂部～足先)

+

目的部位のSPECT/CT

【24時間後】

WB (頭頂部～大腿部)

+

胸部～骨盤のSPECT/CT
(2回転)

(必要に応じて)

【48時間後】

WB (頭頂部～大腿部)

+

目的部位のSPECT/CT

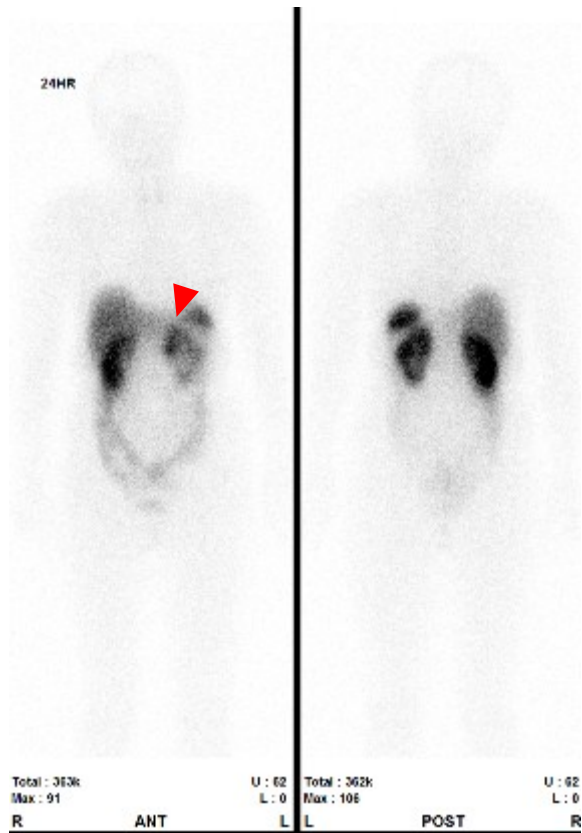
※ SPOTはいずれの相も撮影していない

- 調製後は30分以上放置してから投与
- 25°C以下で保存し、6時間以内に使用
- 投与後は水分を摂取させ、排尿させることが望ましい

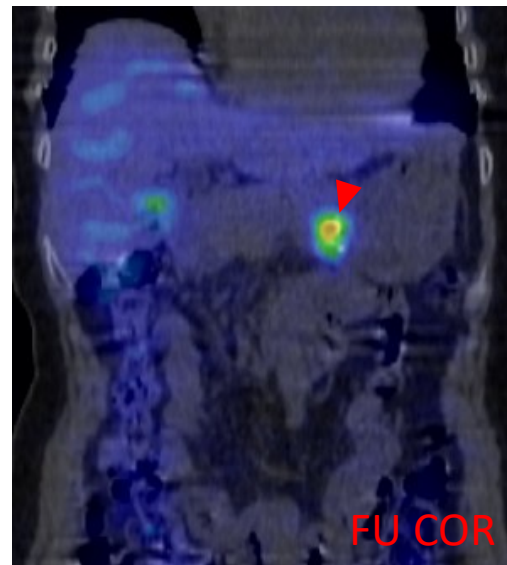
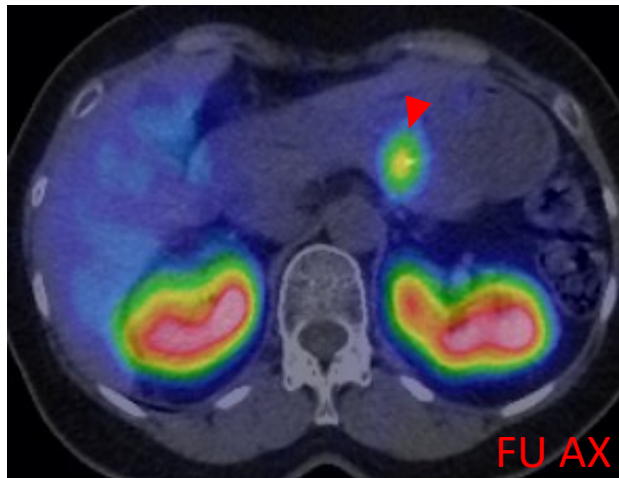
症例① 投与24時間後

※48時間後の撮影は無し

WB



SPECT/CT

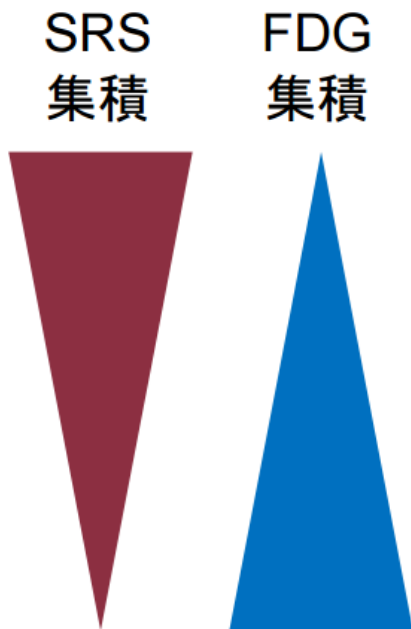


【読影レポート所見】

Planar像で左上腹部の異常集積を認める。
SPECT/CTにおいても膵体尾部移行部で腹側優位での異常集積を認める。指摘されている腫瘍に一致する集積で、膵NETが示唆される。

症例② FDG-PETとオクトレオスキヤンの比較

- オクトレオキヤンは腫瘍の**分化度**を反映して集積する。
- FDGは腫瘍の**悪性度**を反映して集積する。



分類	核分裂 像数	Ki-67 指数	特徴
NET G1	<2	≤2%	高分化型 低～中悪性度 増殖能は低い
NET G2	2～20	3～ 20%	
NEC	>20	>20%	低分化型 高悪性 増殖能は高い